

図書館友の会 ニュース

2026年
1月号

No. 37

発行 岸和田市図書館友の会 《発行責任者 杉原 富人》

※前号(2025年10月号 No.37)は、No.36の間違いでした。

謹賀新年

本年もよろしくお祈りします。

岸和田市図書館友の会 会長 杉原 富人

『広報きしわだ』1月号の10～11面で岸和田市立図書館の特集「本からつながる輪」で図書館企画による各種の取り組みが紹介されています。

図書館友の会も47年前に図書館の呼びかけにより設立されました。節目の創立50周年を3年後に控え、「識者の小さな輪を大きくする」ことを原則にして「本を介した多様な交流」を発展させたいと考えています。そのための足場として、6種の教室や「文学歴史散歩」などの企画行事をとおして、自己実現の場を充実させ、そして希望ある生活を今年も過ごしましょう。「(取り返しのつかない)悲劇の幕が下りる前に」。



短歌教室 公開講座

「短歌の海に深く潜るために」

～3名の歌人をお招きしてのワークショップ～

日時 3月1日(日) 午後1時～4時

会場 岸和田市立図書館3階自習室 定員 30人 《参加費 無料》

2月4日(水)10時から図書館(072-422-2142)で受け付けます。

今、現代短歌が人気です。短歌の何がおもしろいのか。短歌を読むってどういうことか。「歌会」のワークショップを通して、短歌の読み方を探ります。

講師には3名の若き新鋭歌人をお招きします。短歌を作るワークショップではありませんので、短歌を作ったことのない人もどうぞお気軽にご参加ください。普段から短歌を作っている方も、もちろどうぞ。



牛隆佑氏



なべとびすこ氏



千原こはぎ氏



聞き手：金川宏氏

2025 文学歴史散歩

バスツアーに31名参加

昨年11月14日、高槻市のJT生命誌研究館、今城塚古墳・古代歴史館などを訪れました。

バスの中では、図書館友の会の杉原会長の説明を聞き、JT生命誌研究館や今城塚古代歴史館でもたっぷり学び、参加者それぞれ新たな発見を楽しみました。



◇ いろいろなことが学べ、楽しかった。昼食もおいしかった。 (文歴会員)高原喬二

まず、最初にJT生命誌研究館。1階には、生命誌マンダラなど展示。階段は下から一段ずつが進化の歴史を示している。4階屋上の食草園ではチョウの食草が植えられていた。飛翔するチョウは触角で卵を育てる葉がわかるとのこと。その化学感覚毛の拡大写真は良かった。両生類の祖先、生きた肺魚も展示されていた。

次に高槻市立今城塚古代歴史館。継体天皇の陵墓と言われているとボランティアの方の熱のこもった説明が印象的。発掘されたハニワ群は、手で触れる近さにあり素晴らしい。人や動物の表情は生き生きとして歴史を感じない。隣接する古墳周辺は高槻市がほとんど買収、市民の公園として整備されている。古墳の中をみんなで、散策。断層があり伏見大地震で崩れた跡は分からなかった。近くにある発掘されたハニワを作った新池埴輪製作遺跡にも立ち寄った。西暦450年頃から550年頃まで、ハニワが焼かれていた。周辺はマンションが立ち並んでいた。

昼食は今城塚古代歴史館隣のうどん処「水車」で定食でしたが、お刺身、天ぷら、煮物も付いておいしかった。また、朝のバスのなかで、杉原会長の旅のよく分かる説明には、毎回ですが感動します。天気も良く、紅葉が始まっていました。無事に時間通りに岸和田に到着。

◇ 歴史の息吹を肌で感じ、学びと交流の充実した一日に (再発見教室)川原洋

岸和田図書館友の会による『文学歴史バスツアー』にて、JT生命誌研究館、今城塚歴史博物館、今城塚古墳公園、ハニワ公園を見学いたしました。

JT生命誌研究館では、AIが進展する現代において、「生命とは何か」「人間とは何か」といった根源的な問いに、改めて深く向き合う貴重な機会となりました。展示や解説を通じて、科学と人間の関係について考えさせられる、非常に刺激的な時間でした。

今城塚歴史博物館では、古墳を文献資料としてではなく、実際の「かたち」として体感することで、古墳への理解とイメージが大きく広がりました。今城塚古墳公園やハニワ公園の散策も含め、歴史の息吹を肌で感じることができました。また、図書館友の会の会員同士の親睦も深まり、学びと交流の両面で充実した一日となりました。

あなたも「図書館友の会」の活動の輪に入りませんか

「図書館友の会」は今、新たな前進を始めています。一昨年9月からは「戯曲教室」を試行的に開始し、12月にはシェイクスピアの名作『マクベス』についての公開講演会を行い、昨年から正式に発足。そして「各教室」では、会員外の市民の方にも参加していただけるよう、公開講座・講演会の内容を工夫して実施してきました。

「岸和田再発見教室」では様々なテーマの公開講演会を開き、会員以外の方々の参加も多かったのですが、他の教室でもユニークな企画で開催し、教室の仲間で学び合うだけでなく、広く市民にも学ぶ機会を提供し図書館活動の一環を担うように努めています。あなたも「図書館友の会」の輪の中に入り、共に学び合いませんか。

今回は、昨年実施された「文章教室」、「戯曲教室」、「再発見教室」の公開講座・講演会に参加された皆さんの感想を紹介します。

「文章教室」公開講座 10月25日開催

「あなたにも私にもできる文章表現」 ～生活記録からフィクション、自分史から取材の方法まで！

話題が多岐にわたり、楽しい対談でした。文章を書く具体的なノウハウではありませんでしたが、何を書くかについての、示唆に富んだ内容でした。

何をというとき、どう生活しているのかが問われるようです。その一つが聞くことです。人の話を自分の思いこみで解釈しがちな私は、聞くことへの向き合い方が印象に残りました。

田辺聖子は、酒の席での人々の会話にじっと耳を傾け、それが彼女の小説に活かされていたという話。先生がその道のプロに取材されるとき、何も知りませんからと、教えるように話を聞くという話。

お二人とも書く事が仕事であり、それを通して広い人間関係があるのがわかります。私は自分自身にも、周囲の様々なことにも興味を持ち、いつまでも目を輝かせていたいと思いました。そして書き続けるしかないのですね。
(文章教室 川口朋子)

「戯曲教室」公開講演会 11月16日開催

「シェイクスピア劇と四人の暴君～クローディアスとマクベスとリアとリチャードと！」

先日、シェイクスピア作品を上演されている劇団五期会副代表の井之上淳先生の講演会に参加しました。「シェイクスピア劇と四人の暴君」と題し、彼らがなぜ「暴君」と化していたのか、それぞれの戯曲に現れる「唆す者と唆される者」を中心にわかりやすく解説して下さいました。また、戯曲のセリフを自分達の肉声を通して聞くうちに、人の心を操るのは他者なのか、或いは自らに潜む内なる声なのか、深く考えさせられました。

(戯曲教室 斎藤あずみ)

※ 今回は「地名の秘密」の連載はお休みさせていただきます。

「再発見教室」公開講演会 11月29日開催

「久米田寺と中世社会—地域社会における寺社の役割」

講師 梶田航平氏（泉佐野市立歴史館いずみさの学芸員）

◇ 久米田寺がもっと好きになった

（大町）杉山優子

久米田寺から見える久米田池の風景が好きで、よく散歩をします。久米田寺は、いつでもおまいりする人がいて、信仰を集める私たちの地域の立派なお寺です。そんな久米田寺の昔々の風景は…。熱心に仏教を学ぶ人々が日本中から集まってくる壮大なお寺でした！

梶田先生のお話は、豊富な文字資料によってその時生きた人々の声が聞こえてくるようでした。特に、昨年神奈川県金沢文庫で行われた「久米田寺展」にも行ってきたので、学んだ紙の裏紙に残された文言から伝わる生活感も交えて、学問僧たちの交流を感じ、九条政基の日根荘も繋がって、久米田寺が広い地域と繋がっていたのを感じました。中世の僧たちが憧れ学んだ久米田寺から見えた景色はどんなだっただろう。和泉葛城山から上る太陽を眺め、修行に励んだんだろうか。大志を抱いて全国の僧が集まった中世の久米田寺。今も人々が訪れて手を合わせる久米田寺がもっと好きになったお話でした。

◇ こんな経験ができる岸和田の人たちが羨ましい

（高野俊和）

鎌倉時代から戦国時代まで、久米田寺が地域社に果してきた役割の変遷に関して、時代毎に分かり易く、丁寧な説明と豊富な資料を根拠にして、事象毎に明確に示しながら、その繋がりを説明されていて理解し易かった。私は堺市在住なので、あまり久米田寺が、身近でなく、久米田合戦も知らなかったもので、初めて聞く話が多く、大変興味深く感じました。特に寺自体の歴史だけでなく、その時代の人の生活用式や地域社会の仕組みや宗教の推移についての説明が頭に浮かび、今この場所で、何百年前に生活していた人たちの声が聞こえてきた感じがしました。また、同時にこんな経験ができる岸和田の人たちが羨ましく思いました。梶田先生、有難うございました。

図書館友の会 第4回史跡を歩くツアー

久米田寺周辺と久米田合戦跡地を歩く

案内/ガイド：杉原富人 氏(図書館友の会会長)

日時：1月31日(土) 午前9時

JR 阪和線久米田駅東出口に集合(少雨決行)

参加費：200円(保険代 他) 昼食は各自持参してください。

定員：30人(先着順。定員に達し次第締め切り)

1月6日(土)10時より図書館本館(072-422-2142)で受付けます。

行程：徒歩で約4時間(約3.5km)

JR 久米田駅(東口) ⇒ 久米田寺(寺境内見学約1.5時間)

⇒ 久米田古墳群 ⇒ 三好実休戦没碑・根来左京首塚 ⇒ 浄行寺

⇒ JR 下松駅(解散:午後2時頃)

精霊殿



三好実休戦没碑